# はじめに

本講座では、実際の私立大学・国公立大学の入試問題を使用して、設問形式別に演習に取り組みながら、各設問の解き方の確認をします。

通期の「読解講座」でも様々な設問の解き方をお伝えしてきましたが、志望大学の入試過去問に取り組みだす前に、再度、設問形式別にきちんと解く力がついているか確認しておきたいという人対象に、「通年講座」から「志望大過去問」への橋渡し的役割の講座です。

具体的には「単語」、「現代語訳・解釈・意味」、「指示内容」、「空欄補充」、「心情・理由説明」、「内容説明」、「内容合致」、「古文常識問題」の八項目に分けて、各設問を複数題まとめて演習できる構成です。

前から順番に実施していく必要はありません。苦手な設問から実施するもよし、得意なものから確実につぶしていくもよし、もちろん第一講から順番にこなしていってもよいです。好きなところから始めてください。

対象は、受験に古文が必要な人（共通テストのみの人・私立大学志望者・国公立大学志望者問わず）全員です。

選択肢問題だけではなく、記述問題も扱っています。

本番で記述不要の人もいるはずですが、是非、記述問題にもチャレンジしてみてください。模範解答のような完璧な解答を書こうとしなくてもかまいません。箇条書きでポイントを書くだけでもよいです。

自分で答えが書けるからこそ、正しい選択肢が選べるのです。

記述が必要な人は、字数制限などがあれば、それも意識して取り組んでください。

それでは、どんな設問でも自信を持って解答できるよう、力をつけていきましょう！

# 目次

第一講　単語 …… p. 4
第二講　現代語訳・解釈・意味 …… p. 14
第三講　指示内容 …… p. 28
第四講　空欄補充 …… p. 41
第五講　心情・理由説明 …… p. 48
第六講　内容説明 …… p. 59
第七講　内容合致 …… p. 66
第八講　古文常識問題 …… p. 72

# 国公立大・私立大 古文対策講座

# 〈設問形式別演習〉

# 第一講　単語

一　傍線部の意味として最も適当なものを、次の中からそれぞれ選べ。

問1 「今日は術(ずち)なし。右の大臣にまかせ申す」

ア　手続きがわからない　イ　どうしようもない

ウ　名案がない　エ　異論がない

問2 「かたみにもの恥づかしく胸つぶれて、…」

ア　別れの記念に　イ　おたがいに

ウ　緊張して　エ　遠慮して

問3 「出でがてに、御手をとらへて…」

ア　月を待って　イ　戸のところで　ウ　帰るついでに

エ　いつものように　オ　立ち去りにくそうに

問4 「夜すがら物がたり聞かん。」

ア　真夜中に　イ　夜になったら　ウ　毎晩

エ　一晩中　オ　夜になるまで

**問5**　「夜を昼にて告げに遣はしたれば、…」

ア　不眠不休で　イ　半信半疑で　ウ　あべこべに

エ　奇跡的に　オ　内密に

**問6**　「つとめてなど、いとあはれなり。」

ア　早朝　イ　心づかい　ウ　使用人

エ　夕暮れ　オ　海女

**問7**　「小童（こわらは）一人、供に具して、とかく歩きけるが、…」

ア　あちらこちらに　イ　威厳を持って　ウ　いやいやながら

エ　ただなんとなく　オ　よろめきつつ

**問8**　「あさましきことなりかし。」

ア　もの足りない　イ　けなげな　ウ　気の毒な

エ　勇ましい　オ　あきれた

**問9**　「さすがゆかしくて、さし寄りて見たれば、…」

ア　変に思って　イ　うれしくて　ウ　尊く感じて

エ　同情して　オ　心ひかれて

**問10**「女はなほおぼろけの心ならじ。」

ア　長年の自信　　イ　明確な決意　　ウ　並一通りの覚悟

エ　はっきりした自信　　オ　ぼんやりした不安

**二**　次のそれぞれの問に答えよ。

**問1**　「大きなりなどもおろかなり」の意味内容として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　蛇は、死なせてしまうには惜しいほどの大きさであった

イ　蛇は、確かに大きかったが、騒ぎ立てるほどではなかった

ウ　蛇は、何とも言い表すことができないほどの大きさであった

エ　蛇は、大きな木の根に勝るとも劣らないほどの大きさであった

オ　蛇は、大変な大きさであったが、十分な知恵を備えていなかった

**問2**　「なま夕暮れになりにけり。」の傍線部の表している状態として最も適当なものを次の中から選べ。

ア　すっかり日が暮れてしまった状態

イ　日が暮れても涼しくならない状態

ウ　夕暮れであることが実感できる状態

エ　夕暮れになったばかりの状態

オ　夕暮れになりきっていない状態

**問3**　「誰てふ烏滸（をこ）の者かさる卑しげなる名はつけけん」の傍線部を現代語訳せよ。

**問４**　次の文章を読んで、傍線部Ａ、Ｂの解釈として最適な組み合わせを、後の中から選べ。

「西明寺の入道、ある宵（よゐ）の間（ま）に呼ばるる事ありしに、『やがて（傍線部Ａ）』と申しながら、直垂（ひたたれ）のなくて、とかくせしほどに、また使（つかひ）来て、『直垂などのさぶらはぬにや。夜（よる）なれば、異様（ことやう）なりとも。とく（傍線部Ｂ）』とありしかば、…

ア　Ａ　そのままの格好で参ります　　Ｂ　くつろいだ格好でおいで下さい

イ　Ａ　すぐに参ります　　Ｂ　急いでおいで下さい

ウ　Ａ　間もなく参ります　　Ｂ　説明は後ほど致します

エ　Ａ　そのうちに気が向いたら参ります　　Ｂ　帯など解いたままでおいで下さい

オ　Ａ　他の誰でもなく私自身が参ります　　Ｂ　素早く行動なさって下さい

**三**

傍線部の意味として最も適当なものを、次の中からそれぞれ選べ。

**問1** 「(注)今日は凶(あ)しき日、明日八日なれば、九日の<u>つとめて</u>、関白殿より、さまざまの魚(いを)ども持て参りたれど、…」

注　今日は凶しき日、明日八日なれば…今日も明日も同じく凶日なので。

ア　翌朝　　イ　終日　　ウ　早晩　　エ　早朝　　オ　昼夜

**問2** 「まことに、<u>かなしからん</u>親のため、妻子のためには、恥をも忘れ、盗みもしつべき事なり。」

ア　面倒な　　イ　愛する　　ウ　哀れな　　エ　瀕死の　　オ　悲しい

**問3** 「<u>あやし</u>の(注)薦(こも)引き回したる中に、人ある気色して、前にことやうなるものさし出だして、食ひ物の端々(はしばし)受け集めて置きたるありけり。」

注　薦…むしろ。

ア　不思議な　　イ　みすぼらしい　　ウ　ありふれた

エ　見慣れない　　オ　きれいな

**問4**「あるじなどし、人々もの食ひて、騒がしきこと…」

ア　饗応　　イ　居住　　ウ　差配
エ　主人　　オ　紹介

**問5**「同じ御時、小川滝口定継といふ御気色よきぬし侍りけり。四﨟座にて、上﨟を越して久しく奉公して候ひけり。」

注　同じ御時…順徳天皇の在位のとき。
　　滝口…警備の武士。
　　四﨟座…第四番目の地位。

ア　御趣味　　イ　御容貌　　ウ　御意向
エ　御信任　　オ　御人柄

**四**　次の文章は、寿永二（一一八三）年、源氏に攻められた平家が都落ちをする場面である。これを読んで、後の問に答えよ。

畠山庄司重能（しげよし）、小山田の別当有重（ありしげ）、宇都宮左衛門朝綱（ともつな）、これ三人は去（さ）んぬる治承三年より召し籠められてありしを、大臣殿ばかり「これらが首（かうべ）を刎（は）ねらるべし」とのたまひけるを、平大納言と新中納言と申されけるは「これら百人千人を斬（き）らせたまひて候ふとも、御運尽きさせたまはん後は世を取らせたまはんことかたかるべし。国に候ふなる彼らが妻子ども、さこそ嘆き候ふらめ。今や今やと待ち候ふらんところに、斬られたりと聞こえしかば、いかばかり嘆き候はんずらん。これらをば東国へ返しつかはさるべしとおぼえ候ふ」とひらに申されければ、大臣殿「げにも」とて、これら三人を召し寄せてのたまひけるは「いとまを賜（た）ぶ。急ぎ下れ」とのたまへば、三人の者どもかしこまつて申しけるは「いづくまでも行幸の御供つかまつるべき」よしを申す。

注　治承三年……一一七九年。
　　大臣殿……前内大臣平宗盛。
　　平大納言……平時忠。宗盛の叔父。
　　新中納言……平知盛。宗盛の弟。

**問**　傍線の解釈として最も適当なものを次の中から選べ。

ア　追放する　　　イ　休暇をいただく
ウ　支度をせよ　　エ　切腹を命ずる

**五**

**問1**　次の文章を読んで、傍線部の解釈として最も適当なものを後の中から選べ。

いとつれづれに世の中のうらめしきことのみ思へば苦しきを、行ひは許されず、「心慰めに、東（あづま）の方へまからむ」と、親に申しければ、…

ア　朝廷の仕事に励むこと
イ　故郷を捨て唐土（もろこし）まで行くこと
ウ　一旗揚げに東国まで行くこと
エ　出家し仏道修行をすること

**問2**　「雲井の花を見し昔は、同日同夜の上日にひまなく、仙洞の月をながめし中ごろは、白浪の音をたてじと営みし程に」は、主人公（平康頼）のどのような人生経験を反映しているか。次の中から最も適切なものを一つ選べ。

ア　学業　　イ　交友　　ウ　趣味
エ　職業　　オ　生育

**問３**　傍線部「寂しき床（とこ）」とあるが、本文中にはこれとほぼ同内容の語句が用いられている。その語句を抜き出せ。

常よりも、風さへ心細き夜、御袖の氷もいと溶けがたう、明かしかねさせ給ひて、まだ明け暗（ぐれ）のほどに、内裏（うち）より、

「片敷きの冴ゆる霜夜の衣手にかかる涙の色を見せばや
<u>寂しき床（とこ）</u>は変はらずと、あらぬ思ひや立ち添ふらん」

注　あらぬ思ひ…私ではない他の人への思い。

# テキスト解答解説

## 【第一講】

### 〔模範解答〕

**一**

問1 イ　問2 イ　問3 オ　問4 エ　問5 ア

問6 ア　問7 ア　問8 オ　問9 オ　問10 ウ

**二**

問1 ウ　問2 オ　問3 愚か者　問4 イ

**三**

問1 エ　問2 イ　問3 イ　問4 ア　問5 エ

**四**

ア

**五**

問1 エ　問2 エ　問3 片敷き